

第8回オープントーナメント 北信越空手道選手権大会試合規約

社団法人
国際空手道連盟 極真会館
全日本極真連合会 高橋道場本部

国際空手道連盟ルールに準ずる

試合時間 『試合時間及びルール』参照
防 具 『試合時間及びルール』参照

着 衣 清潔な空手衣を着用すること。男子は道着の下の着衣は認めない。
ピアス等のアクセサリー着用の選手は出場を認めない。主催者が用意したゼッケンを背中の中央に貼り付けること。

勝 者 一本勝ち、判定勝ち、相手の反則ないし失格による勝ちより判定される。

一本勝ち 反則箇所を除く部分への突き、蹴り等で瞬間的に効かし3秒以上相手が立ち上がれない時、または戦意を喪失させた場合。
技あり2つで合わせて一本となる。

技あり 反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどを決め、そのダメージにより一時的動きが止まった時、または大きく崩れた場合。足掛けまた前蹴りや下段の合わせ技で相手をきれいに倒したときは技ありとする。

判 定 一本勝ち、失格がない場合は、主審・副審のうち、過半数の審判の判定できる。判定が決まらない場合は延長戦を行う。

延長戦でも決まらない時は体重判定を行う。それでも決まらない場合は最終延長戦を行い勝敗を決する。
(体重判定は、試合ルール参照)

各部門の申請体重を超えて出場した選手については、減点1を与えた形で試合を開始する。

反 則 手技による首から上へ(首を含む)の攻撃。
金的蹴り・頭突き。
倒れている相手に当てる攻撃。
背後からの攻撃
拳底押し・正拳押し、つかみ、投げ、手掛け・クリンチ。
技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れることを繰り返す)
何度も場外に逃げた場合。
その他、審判が特に反則とみなした場合。
反則は悪質なものを除き注意が与えられる。悪質な反則の場合、減点及び失格もありうる。
注意2回で減点となる。

失 格 減点を2回重ねたとき。
試合中、審判の指示に従わないとき。
出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
粗暴な振る舞いや悪質な試合態度とみなされたとき。
応援態度が悪質で目にあまるときは選手の減点または失格もありうる。
当日の軽量により、規定の体重を超えているとき。(申告体重と5kg以上異なるとき)

その他 判定に対する抗議は一切認めません。
出場申込書に記入内容誤りがあった場合(学年・年齢等)は、失格となりうることがある。

マウスガード(マウスピース)極力使用すること。
大会医師の許可のないテープングの使用は認めない。

試合時間及びルール

試合時間

| | 予選 | 準決勝～ | 延長戦 | 最終延長 |
|-----------------|----|-------|---------|------|
| 幼年部・小学・中学各部 | | 1分30秒 | 1分 体重判定 | 1分判定 |
| 高校生各部・壮年・一般女子の部 | | 1分30秒 | 1分 体重判定 | 1分判定 |
| 一般男子初・中級・上級の部 | 2分 | 2分 | 2分 体重判定 | 2分判定 |

* 延長戦で決定しない場合は体重判定

体重判定は幼年・小学生・中学生は3kg以上、高校生・一般女子は5kg以上

壮年部・一般男子は10kg以上をもって、勝敗を決する。

防具

| | ヘッドギア | 脛サポーター | 拳サポーター | 膝サポーター | ファールカップ | チエストガード 女子のみ |
|-----------------|-------|--------|--------|--------|---------|-----------------|
| 幼年・小学1年～3年生 | | | | | (女子) | |
| 小学4年～中学生 | | | | | (女子) | |
| 高校生・各部・ 壮年の部 | × | | | | | |
| 女子・各部 | | | | | (女子) | |
| 一般男子・各部 | × | × | × | × | | |

着用義務

着用自由（希望者のみ）

× 着用不可

マウスガード（マウスピース）を極力使用すること。

ヘッドギヤは主催者が用意する。それ以外は各自用意すること。

グローブ、脛サポータは布製・革製どちらでも良いが、硬質の素材が入っていない物であること。

チエストガードは腹までプロテクターがかからない胸のみガードするもの（胴は不可）

会場

福井県営体育館（福井運動公園体育館）

住所 福井県福井市福町3-20

電話 (0776) 36-1542

日時

平成21年10月25日（日）